

県民の運動と結んで、要求実現へ全力投球

手ボリ

新たな税金(補助金)投入をストップ

武田英夫県議の一般質問に対して、知事は「デモンマークとの協議調整の結果いかににかかわらず」今までのような補助制度は今年度で打ち切られます。こういったような財政的な支援は考えておりません」と明言しました。



一般質問で石井知事を追及する武田県議

国保資格証

「滞納という理由だけで発行は不適切」(知事)

武田県議の質問に対し、知事は「県では、保険料を滞納しているという理由だけで資格証明書を交付することは適切でないと考えており…」と答弁しました。これを受けて、県議団は



「県内における資格証発行の実態は、この五年間で、滞納世帯数は一八%の増加なのに対し、資格証

この十年間で土地代や建設費も含めて約三六〇億円の税金が投入され、補助金としては、長野知事時代に「開業前費用への補助」として五年間で四五億円、さらに石井知事が「単年度黒字まで」と五年間で三五億円の補助を出してきました。新たな補助金支援を断念させたことは、県民の運動と世論の高まりがもたらした大きな成果といえます。

鳥インフルエンザ

関連農家への県独自の支援策を新設

先月二十二日、県は鳥インフルエンザの問題で、発生農家への支援と周辺農家への支援とい

う二本立ての県独自の支援策を発表しました。党県議団は、発生後ただちに現地調査をおこない、一月三十日には県へ対策を申し入れていました。



養鶏農家の話を聴く赤坂てる子県議と中林よし子元衆院議員ら



養鶏農家への支援など、県に申し入れ(1月30日)

政務調査費

領収書の公開

改選後の議会で検討へ

十六日の議会運営委員会における陳情の審議のなかで、政務調査費について、自民、公明、民主県民クラブは、領収書添付の条例化に向け改選後の議会で検討する姿勢を表明したうえで保留(審議未

了、廃案)を主張しました。自主的に公開している共産党を除く全会派がこのような前向きな立場を表明したのは初めてのことであり、わが党の奮闘と県民世論の盛り上がりもたらした成果といえます。

2007年度予算の特徴

岡山県の二〇〇七年度予算案は、総額六千九百四十一億円余、前年比〇・一%減で、六年連続のマイナスとなりまし。

歳入は、個人県民税や法人関係税等の伸びにより県税収入が二二・一八%(四百九十億円余)増えて過去最高額となることが見込めるものの、地方交付税等の減少により、財源不足は依然として二百九億円に上り、特定目的基金からの借り入れでしのぐ不正常的な状態が続いています。

県民に冷たく、大企業に大盤振る舞い

そういう状況のなか、大企業誘致のための補助制度を拡充——県営企業団

地の場合には限度額七十億円、新たに市町村営企業団地にも適用(限度額五十億円)——レジャーランド・倉敷手ボり公園に税金投入を続ける一方で、前年度の単県医療費公費負担制度改善に続き、「事務事業の総点検」で徹底した県民向け予算の削減を打ち出しているのが最大の特徴です。市町村関係会計への補助金の〇八年度からの全廃、百歳高齢者に渡す記念品予算の削減、原爆被爆者会や難病連への補助金の削減、廃止、母子家庭の自立を支援するための給付金の廃止等々、数え上げればきりがありません。



草の根の運動が実を結んだ成果も

しかし同時に、県民の粘り強い運動と結んだわが党の論戦を反映し、教育分野では多くの県民要求を実現することができました。県立学校の耐震化今後五年間で百%に、スクールカウンセラーの全ての中学校への配置、三十五人以下学級の拡充、岡山南看護学校の完成と障害児担当教諭百十人の増員、倉敷地域に養護学校を新設するための調査費、中学校への通級教室の設置、などです。その他の分野でもアレルギー疾患診療のための拠点病院の整備、テロ防止のための施策、県単独の「岡山県障害者就業支援センター(仮称)」の設置、などに新たな予算がつけました。

今期最後となる二月定例岡山県議会は、二月二十六日に開会し、三月十九日まで二十二日間開かれました。日本共産党県議団は、武田英夫県議が一般質問に立ち、赤坂てる子県議が討論に立ちました。詳細は、ホームページをご覧ください。

武田英夫県議の質問項目

- ①鳥インフルエンザ発生問題
- ②「格差と貧困の解消」に関して
- ③知事への大増税と負担増の問題
- ④市民健康保険制度の問題
- ⑤生活保護行政について
- ⑥母子家庭への支援の問題
- ⑦働く貧困層(ワーキングプア)について
- ⑧サービス残業の是正の問題
- ⑨最低賃金の抜本的な引き上げの問題
- ⑩子どもの医療費の無料化拡大を、
- ⑪子ども医療費の拡大を、
- ⑫三十五人学級の拡大を、
- ⑬学力テストについて
- ⑭税金の使い方の問題
- ⑮手ボリ問題
- ⑯企業誘致補助金の問題
- ⑰残土処分場等に搬入されている建設残土等の問題

2007年3月 No.16 FAX(086)231-2187

日本共産党岡山県議会議員団 ☎(086)224-2211(内線 4056)

〒700-8570 岡山市内山下2丁目4-6 岡山県議会内

ホームページ <http://www.jcp-okayama-kengidan.jp>

E-mail : kyosan@pref.okayama.jp

日本共産党 岡山県議会報告

二〇〇七年度予算案に反対

赤坂てる子県議が討論



赤坂県議はまず、平成十九年度岡山県一般会計予算について、県民の切実な要求や県政の新しい課題に対応したのも盛り込まれており、その点は評価をするものの、弱者いじめの「事務事業の総点検」や引き続きチボリへの税金投入に象徴される無駄づかいの温存など容認できない内容を含んでいることをあげ、反対を表明しました。

次に、「国民健康保険診療報酬審査支払手数料補助金に関すること」、「生活保護の夏季・年末一時金をもとに戻すこと」、「生活保護母子加算廃止に反対する国への意見

書を求めること」の三つの陳情について、これらはいずれも、「格差と貧困」が深刻な社会問題として県内にも存在し広がっていることを告発しており、岡山県政に対し、県民として当然の施策を求める内容となっていると指摘して、採択するよう求めました。特に、市町村国保会計への県の助成は、廃止するのではなく増額を、いまのやり方が不適切なら他県に学び別の方法で継続するよう強く主張しました。

倉敷チボリ公園への土地代など一切の税金投入をやめることを求める陳情について、

赤坂県議は、知事の「チボリへの補助金投入をやめ税金投入額を減らす」という決断を評価しながらも、それにとどまらず一切の税金投入をやめるべきだとして、採択するよう求めました。

改憲手続き法案にかかわる意見書採択を求める陳情に対しては、世論調査でも国民多数が「国民投票法案を」今国会で成立させる必要はない」と答えており、地方公聴会はもちろん期限を切らない徹底審議こそ求められるとして、採択を主張しました。

政務調査費収支報告書に領収書等の添付を求める陳情については、日本共産党県議団は五年も前から自主的に会計帳簿も領収書も全て県民に公開していること、備前市に続いて岡山市議会が領収書の添付を決めたことなどを示し、採択するよう強く求めました。



県民の声に背を向ける文教委の審議

森脇ひさき県議のブログより

十四日の文教委員会には、その他の陳情とともに、養護教諭の増員と処遇改善を求める陳情が五件出されました。一つは、臨時（助教諭）でなく正規採用とすることを求めるものです。私は、「保健室登校」など保健室で支援している生徒が増えていること、先生が継続的に生徒と関わるることによって力をつけるようにするなどの理由で、正規採用枠を増やすべきと採択を主張しました。自民党議員は、「採用試験で努力すればよい」と「不採択」を主張。

二つめは、障害児学校への養護教諭の配置について、学校に一人ではなく、小学部、中学部、高等部、各部ごとに一名ずつ配置することを求めるもの、

三つめは、保健室登校など心のケアが必要な生徒が多い学校に養護教諭の複数配置を求めるものです。執行部の意見として「標準法にもとづき配置しており、各部ごとの配置は困難」「標準法にもとづき学校の実態に配慮して複数配置している」というものでした。これに対して、民主・県民クラブの県教組出身の議員は「各部ごとの配置は実情にあわない」「養護教諭のみ特別扱いするのはどうか」、公明党の議員は「標準法からみて無理がある」と主張。自民党とともに不採択にしました。私は「法律や条令が実態に合わないのであれば、それを变えるのも議員の役目。現場から改善を求める声があがっているのだから、その声に応えて改善する必要がある」と採択を主張しました。

主な議案の結果

【議案】	共産	自民	民県ク	公明	結果
平成19年度岡山県一般会計予算	×	○	○	○	○
県立高等学校授業料値上げ	×	○	○	○	○

※ ○賛成、×反対

2月定例県議会には、議案80件が提出されました。日本共産党は、10議案に反対、残りの議案に賛成しました。他の会派は全ての議案に賛成しました。

【請願・陳情】	共産	自民	民県ク	公明	結果
国民健康保険診療報酬審査支払手数料補助金に関することについて (岡山県商工団体連合会)	○	×	×	○	×
生活保護の夏季・年末一時金をもとに戻すこと、母子加算廃止に反対する国への意見書を求める (岡山県生活と健康を守る会連合会)	○	×	×	×	×
倉敷チボリ公園に関することについて(「チボリ」に反対する県民の会)	○	×	×	×	×
改憲手続き法案にかかわる意見書採択を求めることについて(岡山県労働組合連合)	○	×	×	×	×
政務調査費収支報告書に領収書等の添付を求めることについて (NPO法人市民オンブズマン岡山、民主県政をつくるみんなの会)	○	△	△	△	△
県議会議員の費用弁償を公共交通機関の実費に改める条例改正を求める (NPO法人市民オンブズマン岡山)	○	△	△	△	△
難病対策に関することについて (岡山県難病団体連絡協議会)	○	×	○	○	×
労働法制の拡充の意見書採択を求めることについて(岡山県労働組合連合)	○	×	×	×	×
障害児教育を充実させるための条件整備を求めることについて(岡山県高等学校教職員組合)	○	×	×	×	×

※ ○採択、×不採択、△保留(審議未了・廃案)

活動日誌

- 1月17日 阪神大震災12周年にあたり、災害対策の充実を求め県に申し入れ
県の「事務事業の総点検」方針に対し、緊急集会を開催(写真上)
- 1月30日 鳥インフルエンザ対策求め県に申し入れ
- 1月31日 国保診療報酬審査支払手数料補助金の廃止計画中止を求め県に申し入れ(写真上から2番目)
- 2月2日 2007年度予算に関する知事折衝
- 2月7日 県庁包囲デモの先頭に(写真下から2番目)
- 2月13日 乳幼児医療費無料化拡大を求め県に申し入れ(写真下)
- 3月14日 国民健康保険証取り上げ(資格証発行)問題で県に申し入れ



今期(2003年5月~2007年4月)、知事提案の議案に 民主県民ク、公明は100%賛成

2003年4月の改選からこの2月定例議会までに、定例・臨時あわせて21回の議会が開かれ、執行部からは予算や条例など全部で679件の議案が提出されました。日本共産党県議団は、チボリなどの無駄づかいや県民の利益にならない84件の議案に反対し、その他の議案には全て賛成。県民の目線に立ってチェック機能を果たしてきました。

知事提案の議案に賛成した件数(率)／今期

	共産	自民	民県ク	公明
議案(679件)	595件 87.6%	678件 99.9%	679件 100%	679件 100%